誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和７年4月1日現在　　江戸川区立瑞江小学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和８年度の目標	60.0%	60.0%
令和７年度の目標	55.0%	55.0%
令和６年度の結果	49.8%	49.8%
令和５年度の結果	33.0%	35.0%

令和６年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合		
学年	国語	算数
第６学年	49.2%	49.2%
第５学年	50.0%	50.0%
第４学年	49.0%	49.0%
第３学年	50.8%	50.8%

ともに、生きる。江戸川区

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・学年間での意見交換と連携 ・学習テキストやワークシートの共有 ・校内研究への積極的参加 ・教科担任制の推進 ・授業参観への積極的参加 ・校内研修（OJT）などでの情報交換をする。	・朝学習での既習学習の復習 ・デジタルドリルの活用 ・月１回の書くチャレンジ（意見文）の取り組み ・週1回の朝学習の実施 ・「よむYOMUワークシート」（４・５・６年生）の実施	・保護者会や学年だよりを通して保護者への働きかけを行い家庭との連携を図る。（家庭の宿題チェック） ・3～６年生は自主学習を家庭学習で実施 月１回自主学習ノートの代表を学校に掲示 ・１人１台端末、デジタルドリルの積極的な活用 ・「江戸川っ子Study week」ドリルパークの活用
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・発問やワークシートを工夫することで、一人一人が考えをもてるようにする。 ・①実態把握②特性の理解③目標設定④支援のサイクルを意識して指導をする。 ・特別支援コーディネーターを軸として、情報共有をし、学校全体で手立てを考えていく。	・東京ベーシックドリルの診断結果に基づいた宿題、朝学習や補習の実施をする。 ・学期や年間を通して、児童の課題を把握し、復習したい事柄について、授業の帯で学習活動を設定する。 ・週１回の放課後学習教室を通して、個に応じた指導を行うことで、算数の既習事項の定着を図る。	・個別の学習状況や課題を保護者と共有し、家庭との連携を図る。 ・「書くチャレンジ（意見文）」「各教科のノート」など児童の取り組みを紹介し、学習習慣の意識を高める。 ・Study weekを節目にして、各学級で内容や時間配分などを共有することで、目標時間に到達していない児童が見通しをもって家庭学習に取り組めるようにする。
成果指標	・全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」における設問「国語、算数の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答が８０％以上を達成しているか。	・３学期の東京ベーシックドリル算数診断シートにおける各学年の目標到達値の通過率を達成しているか。	・Study weekの全児童の目標達成率が８０％以上になっているか。